

# 等身大パネルに「命」感じて

事故、犯罪で亡くなった被害者

## 遺族、講演で訴え

平和小で生命の  
メッセージ展

命の大切さを伝える「生命のメッセージ展 in 大和郡山市」(大和郡山市・同市教育委員会主催)が、同市美濃庄町の市立平和小学校で開かれた。

大和郡山



会場では、事故や犯罪などで亡くなった被害者31人分の等身大パネルに、本人の写真や遺族の言葉などを張った「メッセージャー」を展示。飲酒運転による交通事故で亡くなった被害者もいて、児童らは文章を読むなどしてメッセージャー一人一人の人生に思いをほせていた。

また交通事故で長男の健仁さん(当時18歳)を亡くした、NPO法人KENTOの児島早苗代表(68)は奈良市での講演も実施。児島さんは「ある日突然、二度と家族の待つ家に帰れなくなった生命がある。自分たちには何ができるか考えて

パネルの文章などを真剣な表情で読む児童(大和郡山市美濃庄町の平和小

ほしい。そしてルールを守ることを大切にしたい」と語り掛け

た。  
同校6年の田口温人君(12)は「もし自分が被害者になったらどう思うと悲しいし、家族も悲しむ。これからは信号無視している友だちがいたら注意するな

ど、交通事故が起こらないようにしたい」と話した。  
同展は7月2日まで同市の市立小学校11校全校を巡回する。